

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり鳴神教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別プログラムが固定化しない工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの好きな事を、活動に反映する機会が増えた。</li> <li>・お子さんにとっての分かりやすい職員を意識し、提示する事で、お子さんの意欲に直結している。</li> <li>・活動内容の充実。児童クラブとの交流、ボランティアさんを変えての活動を新たに挑戦出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の要望を確認するスキルの向上。</li> <li>・子ども達同士で話し合い、職員に伝えると叶う経験を増やしていく。</li> <li>・安心して取り組める活動と挑戦出来る活動のバランス。</li> <li>・興味や関心、体の使い方、知る、分かるきっかけとなる活動の提供。</li> </ul>
2	子どもの出来る事を増やしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く、繰り返し支援に当たっている。</li> <li>・出来た事を沢山賞賛し、次に繋がる支援に努めている。</li> <li>・ケース会議を通しお子さんの理解を深め、無理のない支援作りに取り組めた。</li> <li>・職員が研修に参加し、支援の手立て気づきが増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんが理解するツールを増やしていく。</li> <li>・反復学習を大切にしていく。</li> <li>・研修に参加し、お子さんの理解や、支援スキルの向上に繋げていきたい。</li> <li>・お子さんに合った支援を検討していく。</li> </ul>
3	職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が増え、共通認識が必要な場面が増え、話し合い決めている。</li> <li>・状況を複数で相談し判断する余裕が出来た。</li> <li>・何かあれば、検討、振り返り、次にどうするか話し合いが持てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が増えた事で、全員に話が伝わるまでのスピード感や、場合によっては共有の難しさが伺える。口頭引継ぎだけでなく、申し送りノートを活用と確認をする。</li> <li>・沢山コミュニケーションを取る事で、子どもの理解を深め、子どもの満足度を高めていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務に追われてしまう。</li> <li>・子ども為に、したい事はあるが、出来ない状況があり、モチベーションが下がってしまう。</li> <li>・業務の偏りが出てきてしまい、抱えてしまう職員がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直しをかけ、業務の分散、軽減に努める。</li> <li>・業務の偏りが軽減できるよう、業務を覚えて頂くと共に、研修に参加し、それぞれのスキルアップを目指していく。</li> </ul>
2	発信力の低さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート内で、実施している活動に対し、分からないや周知しきれていないマニュアルがあった。</li> <li>・相手を意識し、伝える力。</li> <li>・助言をした際に、助言として受け止めて頂きにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える相手を意識する。</li> <li>・伝える頻度や内容を工夫する。</li> <li>・助言として受け取って頂けるよう、知識やスキルを高め具体的な手立てを提案して行く。</li> </ul>
3	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者さんが交流を持つ場の提供が出来ていない。</li> <li>・兄弟(姉妹)児が参加出来る活動が提供できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部で行われているペアレントトレーニング情報の提供を行っていく。</li> <li>・相談がある場合は、真摯に対応し、知りうる範囲での助言や社会資源の提案を行っていく。</li> <li>・相談に乗れるよう、知識やスキルを研修で得る。</li> <li>・会社への相談と、実際に取り組んでいる事業所の話を参考にする。</li> </ul>